

参考資料

2014年4月25日

当参考資料は、中外製薬の100%子会社である中外ファーマ・ユー・エス・エー・エルエルシーが2014年4月25日（米国現地時間）に発表した英文プレスリリースを、翻訳版として、報道関係者の皆様に提供させていただくものです。

英文プレスリリースは、下記 URL よりご参照下さい。

<http://www.chugai-pharm.com>

中外製薬は、トップ製薬企業像早期実現を目指して力強く「加速」していく決意のもと、「営業生産性の向上」、「グローバル開発の加速」、「革新的プロジェクトの連続創出」、「経営基盤の更なる強化」を重要変革テーマとした中期経営計画「ACCEL 15」に取り組んでいます。その中でも、「グローバル開発の加速」については、「CIM331」や「SA237」の国際共同治験を中外製薬主導で進めるといった新たな挑戦を始めているように、自社創製プロジェクトのグローバル開発を加速していくため、クリニカルサイエンス機能の強化や治験デザインにおける競争力向上に努め、世界同時開発体制を整えているところです。

2014年4月25日 米国ニュージャージー州バークレーハイツ 発

中外ファーマ・ユー・エス・エー・エルエルシーにおける 最高医学責任者任命のお知らせ

中外製薬株式会社〔本社：東京都中央区／代表取締役会長 最高経営責任者：永山 治〕（以下、中外製薬）の100%子会社である、中外ファーマ・ユー・エス・エー・エルエルシー〔本社：米国ニュージャージー州／社長：岡田 一隆〕（以下、CPUSA）は、アトス ジャネーラ・ボラドーリ（Athos Gianella-Borradori）博士（以下、ジャネーラ・ボラドーリ博士）を最高医学責任者（Chief Medical Officer：CMO）に任命しましたので、お知らせいたします。

ジャネーラ・ボラドーリ博士は、血液腫瘍学専門家として、新しい治療薬のトランスレーショナル・リサーチや臨床開発に注力し、グローバルレベルでの研究開発活動に20年以上取り組んでいます。これまで、Novartis 社（スイス）、Crucell 社（オランダ）、Bavarian Nordic 社（ドイツ）、Cyclacel 社（イギリス）、Merck Serono 社（スイス）および Clavis Pharma 社（ノルウェー）において、研究開発関連の要職を歴任しておりました。

ジャネーラ・ボラドーリ博士は、ベルン大学（スイス）にて医学博士号を取得し、小児血液腫瘍学の専門医として、スイスと米国の大学病院に数年間勤務しておりました。

ジャーネーラ・ボラドーリ博士の責務は、米国における全ての臨床開発活動の統括および FDA（米国食品医薬品局）、学会、治験医師、患者コミュニティとの関係において中外製薬を代表し、画期的新薬の創製と商業化において中外製薬が果たした成果の認知度を高め、米国における中外製薬の臨床開発活動を強化することです。また、中外製薬のサイエンスやトランスレーショナル・リサーチに関連する社内会議体に主要メンバーとして参加します。

CPUSA について

中外製薬の 100%子会社である CPUSA は、中外製薬で創製された革新的な新医薬品のグローバルおよび米国における臨床開発プログラムの計画・実施の支援業務を行っています。

中外製薬について

中外製薬は、医療用医薬品に特化し東京に本社を置く、バイオ医薬品をリードする研究開発型の東京証券市場一部上場の製薬企業であり、ロシュ・グループの重要メンバーとして、国内外で積極的な医療用医薬品の研究開発活動を展開しています。

特に「がん」領域を中心に、アンメット・メディカルニーズを満たす革新的な医薬品の創製に取り組んでいます。

国内では、御殿場、鎌倉の研究拠点が連携して創薬研究活動を行う一方、浮間では工業化技術の研究を行っています。海外では、2012 年 1 月、革新的な抗体創製技術を駆使し新規抗体医薬品の創製に特化した研究を行うことを目的とした中外ファーマボディ・リサーチ社をシンガポールに設立、米国と欧州における臨床開発活動は中外ファーマ・ユー・エス・エー、中外ファーマ・ヨーロッパにて行っています。

2013 年の連結売上高は 4,237 億円、営業利益は 799 億円でした [IFRS (Core ベース)]。2014 年は IFRS (Core ベース) で連結売上高 4,510 億円、営業利益 710 億円の達成を目指しています。

中外製薬に関するさらに詳しい情報は <http://www.chugai-pharm.co.jp/> をご覧下さい。

以上